

2019年度特定非営利活動法人ラヂオきしわだ定時社員総会 議事録

- 1 日時 令和2年5月31日(日) 13時半～14時半
- 2 場所 当法人事務所(岸和田市野田町1-6-19 栄光ビル2階)
- 3 出席者数 社員12名中10名(委任状出席5名を含む)
出席者 梶野昭太郎 片山陽子 木村和子 長谷川秀美 山田剛
委任状出席者 奥利隆 片山政徳 北野忠夫 河野晃 山本明宏
欠席者 八木恵 八木雄一郎
- 4 議事
一号議案 議事録署名人の選出
二号議案 2019年度活動報告
三号議案 2019年度決算報告及び監査報告
四号議案 2020年度事業計画
五号議案 2020年度予算計画

5 議事の経過報告及び議決結果

議事に先立ち、梶野理事長が本社員総会に委任状出席を含め10名の出席を得ているので、有効に成立している旨説明。そして定款第25条により梶野理事長を議長に選出。以後梶野議長のもと議事の進行された。

一号議案 議事録署名人の選出

定款第29条2号の定めに従い、議事録署名人に山田剛と片山陽子の2名を選出。

二号議案 2019年度活動報告

梶野理事長より配布資料に基づき2019年度のラジオ事業の活動として、まず最初に一年365日、毎日24時間、放送事故なく続けることができたことを報告し、日々のラジオ放送に加えて、2ヶ月に一度の番組審議委員会、2016年度から始まっている岸和田市議会の収録放送(原則当日深夜)、九月・十月の祭礼特別番組、KIX泉州国際マラソン特別番組などを実施したこと、「ラヂきし寄席」も6月、9月、12月で開催したことを報告する。8周年の事業としては、開局記念日当日レギュラー出演者、パーソナリティで記念番組を放送し、またラヂきしの支援者・後援者を中心にお祝い・激励メッセージを収録し、番宣の間で5月末まで放送した。

三号議案 2019年度決算報告及び監査報告

配布資料(活動計算書、財産目録、貸借対照表)に基づき、片山副理事長より最初に

ラジオ事業の収支について、2019年度も単期で黒字(502千円)を計上することができ、昨年度の黒字分(965千円)とで1,467千円が次期繰り越し財産となることを報告した。

次に「活動報告書」に沿い2019年度を受取寄附金(4,094,850円)の紹介とともに、2019年度の寄付者数としては140人で、認定NPOの要件である年間100人以上のパブリックサポートもクリアーしていることを報告した。

またラジオ事業の収益及びイベント事業の収益の金額を「活動報告書」に従い紹介し、ラジオ事業の収益、イベント事業の収益ともに昨年度より減少していること(両方で689千円)、「その他の収益」(489千円)については昨年度とほぼ同額であることを紹介し、同録CDの売上が大部分であるが事務所内の自販機の販売手数料などがふくまれることを説明した。

次に費用関係では、2019年度も人件費の発生はなく、例年、事業関係、管理関係を合わせて7,000千円から8,000千円であり、2019年度も7,635,327円であった。減価償却費については、2019年度の固定資産の増加は9月に予備用デジタルミキサー(414千円)だけだが、減価償却費は2018年度の年度末に取得した資産の減価償却費負担があるため先期とほとんど同じ金額であった。(1,213千円)。管理関係で例年より増となったのは、消耗什器備品費でこれは管理部門のパソコンの入れ替えによるものである。等々の説明、報告をした。

次に「貸借対照表」の説明に移り、流動資産は3月末で2,620千円で、固定資産は前述したように2019年度414千円の増で5,022,765円となった。負債については、前受金がかなり大きくなっているが、これは1月、3月に4月以降の一年分あるいは半年分の入金があり、これが例年より多くなっている原因であると説明した。固定負債については期首の長期借入金は5,948,000円であったが、株式会社日本政策金融公庫への月々返済で432千円、元気わくわく株式会社へ500千円の返済を行った結果、期末では5,016,000円となっていることを説明した。

これらの決算報告について、当日欠席の奥監事から2019年度の会計業務の監査について帳簿、関係書類などを監査の結果、財務諸表について正確であること、会計帳簿と金額が一致していることの報告を前以て書面で受け取っていることを報告した。

以上の説明、報告にたいして出席の社員の承認を得た。

四号議案 2020年度事業計画

梶野理事長より配布資料に基づき、まず1年365日、毎日24時間放送を続けること、経済産業省の補助金を活用して作成したホームページの内容を充実させ、CM放送を獲得するなどの活動方針の説明があり、新型コロナウイルス対策(スタジオ内の人数制限、入り口での手消毒、スタジオ内のアクリル板の設置など)の説明、九月・十月の祭礼についての考え方、災害情報連絡員制度の充実、岸和田市議会・臨時会の収録放送の予定など、またコロナ禍の鎮静化を条件に主催、共催、後援、協賛などイベントを事業を考えていく

ことなど説明があった。

また今年は放送再免許の更新申請の年になり、7月までに申請をする必要があり、すでにDBSへ依頼をしていることの説明があった。

これらの事業計画について出席の社員全員の承認を得た。

五号議案 2020年度予算計画

梶野理事長より添付の令和2年度事業予算案に基づいて以下のような説明があった。

2020年度は2019年度並みの規模と考えているが、このコロナウイルスの件で、収益

で

は寄付金が少し落ち込むと考えている。予算計画については2020年度は再免許の申請の年になり、通信局に5月1日から7月31日まで申請する必要があり、前回は河野理事が作成した申請書類をDBSに発注したい旨の説明があり、この費用で業務委託費が増えていることの説明があった。

これらの予算計画について出席の社員全員の承認を得た。

以上

この議事録が正確であることを証します。

2020年5月31日

議 長 梶野 昭太郎

議事録署名人 山田 剛

議事録署名人 片山 陽子